

つや姫
雪若丸



だより

(栽培マニュアル：つや姫 P34～37、雪若丸 P16～17)

～適期刈取り編～

尾花沢・大石田版

◎「つや姫」「雪若丸」の刈取り適期は平年並み

出穂後は気温が低い日が続き、昨年にくらべて登熟はやや緩慢に進んでいます。刈取り適期は平年並みとなる見込みです。

調査圃の登熟状況(8月30日時点)

品種	場所	出穂期	登熟歩合(%)
つや姫	村山市河島	8月8日	8.6
雪若丸	村山市白鳥	8月2日	41.1

※登熟歩合は、比重1.06の塩水選による沈下粳の数量%である。積算温度は、展示圃の最寄りのアメダス平均気温を出穂期の翌日より積算したもの。

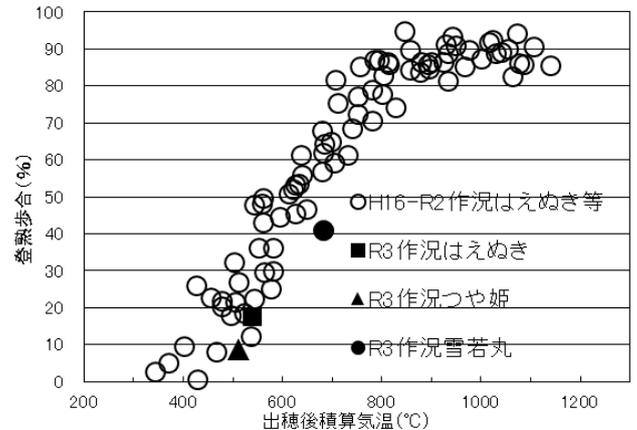


図 出穂後積算気温と登熟歩合(H16～R3 作況(えぬぎ他))

【構成要素】

品種	年次	出穂期 (月/日)	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒/本)	総粒数 (百粒/m ²)	葉色 (SPAD)
村山市河島	本年	8/8	504	61.9	312	31.4
	前年	8/11	408	59.8	244	33.2
つや姫	平年	8/10	482	68.0	327	31.7
	平年比	-2	105	91	95	-0.3
村山市白鳥	本年	8/2	630	60.0	378	36.0
	前年	8/4	612	50.7	310	37.2
雪若丸	指標	8/2	560	54.0	300	-
	指標比	0	113	111	126	-

出穂日は平年よりも2日程度早くなりました。
m²当たり粒数は、つや姫は平年並み、雪若丸は多い傾向です。
品質低下を防ぐため、出穂後30日間は落水しないようにしましょう。

◎適期内刈取りを徹底 一かならず、圃場で登熟状況を確認！

- 管内の出穂期は平年より2日程度早かったものの、その後、気温の低い日が続いたため刈取り適期は平年並みとなっています。
- 刈り遅れると胴割粒や茶米が急増するなどし、品質低下が心配されます。適期になったら速やかに刈取り作業に入りましょう。

◎出穂後の積算気温からみた刈取り時期の目安

品種	出穂期	青糲歩合(%)	9月														10月										
			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9
雪若丸	8月4日	20	刈取適期 950～1,200℃																								
つや姫	8月10日	15															刈取適期 1000～1,200℃										



※出穂後の積算温度。8月29日までは本年値、以降は平年値を使用(アメダス尾花沢値)。

刈取り前に確認を！

① 青籾歩合 15～20%

※ 青籾歩合:1穂の籾のうち緑色のまま(黄化していない)の籾数の割合

◎ 7月の大雨で冠水した圃場や倒伏、病虫害(いもち病、稲こうじ病、斑点米カメムシ類)により品質低下の恐れがある場合は、別刈りを徹底しましょう。



◎品質・食味を重視した、乾燥調製

・高水分のまま放置すると着色粒(ヤケ米)の原因となります。刈取り後はできるだけ早く乾燥機に張り込み、乾燥開始まで常温で通風しましょう。

★刈り遅れでは“胴割粒”が心配されます。乾燥温度を上げ過ぎないように注意しましょう

・籾すりは、必ず、試しすりを行い、脱ぶ率が80～85%となるように、ロール幅を調整しましょう
また、籾混入や胴割れ、肌ずれにも注意が必要です

☆特に「雪若丸」は、粒が大きいため、ロール幅に要注意！

◎選別網は1.95mm(推奨)を用い、整粒歩合の向上を図りましょう

★コンタミ(品種の混入)防止を徹底しましょう。産地の信頼のためにも重要です

- ・異物、異品種の混入には細心の注意を払い、品種が切り替わる際には、コンバインや乾燥調製機械などの清掃を徹底しましょう
- ・調製後の袋詰めの際にも、品種を確認し、間違いのないように注意しましょう。

◎ 秋の農作業事故防止運動展開中 (9月1日～10月31日)

刈払い機、コンバイン等の点検は、必ずエンジンを停止してから！

【発行】 村山総合支庁北村山農業技術普及課 TEL0237-47-8637, 8638